

第1学年 道徳学習指導案

日 時：平成〇〇年〇月〇〇日

場 所：1年教室

指導者：〇〇 〇〇

1 主題構成表

主題名 思いやる心 2-(2)

〈資料名 「はしの うえの おおかみ」 (文溪堂)〉

■内容項目

身近にいる幼い人や高齢者に温かい心で接し、親切にする。

■内容項目から見た児童の実態

- ・1年生の子どもたちにとって、相手の立場や気持ちを考えることはなかなか難しいことである。
- ・子どもたちは、誰にでも親切にしなければならぬということ、観念的には理解している。しかし、学級での生活を見ていると自己中心的な傾向が強く、自分勝手な行動を押し通そうとして、けんかをしたり周りの人に迷惑をかけたことがある。

■要因

- ・人に親切にすることは、生活していく中で欠かせない事だということは理解しているが、実生活で行うことは育っていく段階である。人に親切にすると相手も自分も気持ち良いという体験が少ない。

■価値の分析

人間は、本来温かい心をもっている。しかし、現実生活の中では、相手の立場を無視して、自分の都合で動きがちである。親切とは、相手の立場に立ってものごとを考え、手を差し伸べることである。困っている人、悲しんでいる人はもちろん、誰に対しても、その人の立場になって温かい心で接しようとすることにより、親切な行いが生まれるのである。

相手に親切にできることは、人間関係を築き、社会で生活していくために欠かせない態度であり、小さい頃から相手の立場を考え、思いやる心を育てていかなくてはならない。しかし、社会性がまだ十分に育ってなく、自分中心的な1年生には、まずは身近な友だちや幼い子に対して親切にすることの大切さに気づかせていきたい。

■資料の分析

資料「はしのうえのおおかみ」は、1本橋を渡ってくる自分よりも弱い動物たちに意地悪をして楽しんでたおおかみが、自分よりも強いくまに対しては、「おさきにどうぞ」と譲ろうとする。ところが、体も力も強いくまが、おおかみに対して少しも威張らずに、優しい行為で接する。親切にされたおおかみは、今までの自分の行為を反省し、自分も弱い動物たちに親切にしようとする内容である。

ここでは、おおかみの考えや気持ちに焦点をあてて、意地悪をしている時と、親切にされたあとのおおかみの言動や気持ちの変化を通して、人に親切にすることは、相手だけでなく、自分も気持ちよいものであることに気付かせたい。そして、友だちや自分よりも幼い者に対して、親切にしようとする気持ちをそだてたい。

■ねらい

自分よりも弱い相手に意地悪をしていたおおかみが、自分よりも強いくまに親切にされたときの気持ちを通して、誰に対しても温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。

■展開の構想

- ・今までの生活を振り返り、人に親切にしてもらった時の事を振り返り、価値への方向付けをする。
- ・自分よりも弱い相手に意地悪をして、優越感にひたっているおおかみの気持ちに気付かせる。
- ・くまに親切にされ、うれしく思うおおかみの気持ちを感じ取らせる。
- ・親切にされて今までの自分の行動を振り返ったおおかみの、言動と気持ちの変化を考えさせる
- ・自分よりも幼い子に何をしてあげられるか、考える。

■基本発問 (◎中心発問)

- 橋を渡ってくる動物たちを追い返しているおおかみは、どんな気持ちだったでしょうか。
- ◎おおかみは、くまに橋をわたしてもらったとき、どんな気持ちになったでしょうか。
- くまのうしろ姿を見送りながら、おおかみはそんなことを考えているでしょうか。

2 道徳の時間(本時)と他の教育活動との関連

〈場の内容・ねらい〉

〈児童の意識〉

〈指導・援助〉

【教科：生活】

生活科フェスティバルの準備では、班で出し物を相談した。班内での相談で決まったことを、一生懸命やり遂げることができた。

新1年生との交流会でも、保育園の子のことを思いやり、小学校の生活に役立ったり、楽しめたりする内容を計画運営をする。

【学級活動】

「休みの日の過ごし方」

冬休みの生活を振り返り、健康や安全に気をつけ、物や金銭を大切に、身の回りを整え、規則正しい生活ができたかを話し合う。

また、これからも、家族のことを考えてお手伝いなどを進んで行う態度を育てる。

【道徳の時間】

「はしの うえの おおかみ」

内容項目 2-(2)

主題名 思いやる心

〈学校での日常生活に生かす〉

- ・日常生活の中で、友だちに迷惑をかけたとき、何がいけなかったかを考え、わがままな態度をとらないで、思いやりを持って人間関係を築くことができる。
- ・保育園児や地域の方との交流を通して、温かい心で接し、親切にすることができる。

【日常活動】

「ありがとう発表」

帰りの会での、ありがとうの発表では、仲間とのよさを見つけ、発表している。

係活動

ロッカーの整頓ができていない人を係りの人が発表しているが、その指示に素直に従い、すぐに整頓している。

学級遊び

すこやかかの時間に学級遊びを毎回行っている。多数決で決めた遊びに素直に従いみんな楽しく遊ぶようにしている。

- ・自己主張が強く、自分のミスをなかなか認めようとしない。そのために、友達同士で争いが起きることがある。
- ・他の人のことを考えて行動することが、苦手である。そのため、良し悪しが分かっているにもかかわらず、素直に行動できないことがある。

- ・自分よりも弱い子に対して意地悪をして、自分は楽しんでいて、意地悪をされた子は、嫌な気持ちになったんだな。
 - ・くまさんのように、誰にでも優しく接すると、優しくされた人は、とてもいい気持ちになるんだな。
- 自分の日常を振り返る。**

- ・くまさんのように、だ思いやりの気持ちを持って、誰にでも接すると、みんなが気持ちよくなるんだな。
- ・思いやりの心を持って接すれば、誰とでも仲良くなれるんだな。
- ・相手の気持ちを考えながら行動することが、大切なんだな。

- ・生活の中で、自己主張を通そうとして、仲間との争いをしたときを指導のチャンスととらえ指導する。
- ・自分の行動を振り返らせ、そのときの気持ちを自分の言葉で話させる。

- ・仲間と楽しく活動したり、決めたことを守ろうとしていたりしている児童を認め、励ましていく。
- ・帰りの会での「ありがとう」の発表の中で、親切にされてうれしかったことをみんなに広めていく。

- ・「ありがとう」の取り組みを続け、親切にされたら、うれしかった気持ちをみんなに発表して、広めていく。
- ・みんなが気持ちよく生活できるための呼びかけをしている係りの活動を広げていく。
- ・家庭でも、みんなの気持ちを考え、お手伝いを続けるようにする。

3 学習指導過程

	ねらい	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	○日常生活の中から、具体的な例を出すことによって、導入を図る。	1 友だちに意地悪されたことはあるか。その時、どんな気持ちだったかを発表させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">友だちに意地悪されたことは、ありますか。その時、どんな気持ちでしたか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・遊ぶとき、仲間に入れてもらえなかった。 ・忘れ物をした時、貸してくれなかった。 ・悲しくて、嫌な気持ちになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意地悪されて嫌だったこと、悲しかった経験を思い起こすことで、価値への方向付けをする。
展開前段	○資料のあらすじ確認し、登場人物の心情を理解する。 ○おおかみが意地悪をする時の心情を理解する。 ○おおかみから見た、くまさんの姿について考えさせる。 ○誰にでも思いやりの気持ちをもって、接することは、その人にも自分にも気持ちがいいものだとすることを理解する。	2 資料を提示する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「もどれ、もどれ」と言って追い返したおおかみさんは、どんな気持ちでしたか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・おれは、強いんだぞ。 ・面白いな。 ・みんな、弱虫だな。 ・意地悪をして、面白いな。 ・みんな弱いから、いばってやれ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「ほら、こうすればいいんだよ」と、くまさんに抱き上げられ、後ろへ渡された時、おおかみさんはどんな気持ちでしたか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・びっくりした。 ・うれしかった。 ・くまさんは、優しいな。 ・くまさんは、意地悪をしないんだな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">くまさんの後ろ姿をいつまでも見ていたおおかみは、どんなことを思っていたでしょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・くまさんに親切にしてもらってうれしかった。 ・もう、意地悪はやめて、みんなに優しくしよう。 ・ぼくも、くまさんのように親切にしたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居を使い資料の提示をする。また、黒板を使いパネルシアターのように登場人物を登場させ話の内容を確認しながら授業を進めていく。 ・動作化を取り入れる。 ・意地悪をされた動物たち（うさぎ・きつね・たぬき）の気持ちも考えさせる。 ・役割交代により、異なった立場を対比させる。 ・くまさんに、気付いたおおかみさんは、どんなことを思ったかも発表させる。 ・くまさんの後ろ姿をいつまでも見ていたおおかみの気持ちを考えさせる。
展開後段	○生活の中で親切にされてうれしかったことを発表させる。	3 自分の生活を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">友だちに親切にされたことがありますか。そのとき、どんな気持ちがしましたか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・一緒に保健室について行ってくれた。 ・縄跳びの時、がんばれと言ってくれた。 ・うれしかった。 ・安心した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親切にされてうれしかった経験を思い起こすことで、その大切さを意識させる。 ・親切にした子にもそのときの気持ちを問い、お互いにすがすがしい気持ちになることにもふれたい。
終末	○誰にでも思いやり心を持って接していこうとする。	4 教師の説話を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・誰にでも、思いやりの心を持って接する大切さについての話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの心を持って、気持ちよく生活しようとする意欲をもつ。

4 板書計画

はしの
うえの
おおかみ